

**<研究主題> 思いや考えを伝え、関わりながら深まる子どもの育成
～学び合いが生まれる授業づくりを通して～**

1 主題設定の理由

本校の児童は、「本気」「根気」「元気」の三気を校訓として、子ども同士が関わり合いながら学校生活や学習に取り組んでいる。授業が始まると一生懸命話を聞き、自分の考えをもつなど、学習に対して前向きな子が多い。しかし、気心の知れた人や、少人数のグループでは自分の考えを伝えることができるが、自信のなさや語彙の少なさから、自分の考えをもっているにもかかわらず全体に伝えることができない、臨機応変に言葉や方法を選び、相手に分かりやすく伝えることができないなど、『表現する力』への課題がある。また、自分の考えを伝えるだけで終わってしまい、お互いの考えから疑問や新たな考えが生まれ、考えが深まるような場面は少なく、一方向の表現になっているという課題も見られる。

昨年度は思いや考えを伝え、関わりながら深まる子どもの姿をめざして、副主題を「～ビフォーアフターを表現できる授業づくりを通して～」とし、①伝え合いながら深めるための工夫、②子ども自身が自己を振り返り、表現するための工夫の二つに視点を当てて授業づくりに取り組んできた。伝えたい、聞きたいと思えるような発問の工夫をしたり、学習形態や表現方法の工夫をしたりすることで、自分の言葉で伝えることや、反応しながら聞くなどの伝え合うことは向上してきた。しかし、伝え合いから自然と疑問や新たな考えが出てきたり、感じたことを伝えたりするような姿はあまり見られず、関わりながら深まるにはまだ不十分だと感じている。

そこで今年度は、昨年度の課題を受け、『関わりながら深まる』に向けた更なる研究を重ねるため、副主題を「～学び合いが生まれる授業づくり～」とした。「学び合い」は、自分の考えを伝え、他者から新たな考えを聞いたり、疑問を投げかけてもらったりすることで理解を深めることができる。その過程において、お互いに一人では気付かなかった新たな考えや疑問が生まれ、それらを再び考えることによって深い学びにつながるだろう。また、学び合うことの良さを実感することで学習意欲が高まり、主体的に考えを伝え合って課題を解決しようとする中で、思考力や表現力を育てることにもなると考える。子どもたちが思いや考えを表現し、関わることで、お互いが育つような子どもたちの姿をめざし、学び合いが生まれる授業づくりに取り組んでいくことにした。

2 研究仮説

児童一人ひとりが主体的に課題と向き合い、自分の思いや考えを他者と伝え合うことによって、新たな考えや疑問が生まれ、再び考えることによって学びが深まるであろう。

3 めざす子どもの姿

低学年チーム	進んで自分の考えを話したり、友達の考えと比べて聞いたりして反応する子ども。
中学年チーム	思いや考えをもち、伝えることができる子ども。
高学年チーム	他者の考えを受け、つなげて表現できる子ども。
特別支援チーム	相手意識をもち、自分の考えを表現できる子ども。

4 研究の視点

【授業構想力】・・・・・・指導要領の趣旨を踏まえ、教材や子どもを分析・解釈し、それに基づいて授業を構想・計画をする力

★見通しがもて、考えたくなるような導入

★必要感のある発問

★深まりが生まれる再発問



- | |
|---------------------|
| ①知識・技能習得につながるもの |
| ②教材に立ち戻ることへつながるもの |
| ③自分自身に立ち戻ることへつながるもの |

【授業運営力】・・・・・・子どもの発言に対する問い返しなど、実際の授業において生まれるやりとりに対して、柔軟に対応する力

視点（１）児童にとって学習に興味をもち意欲を向上させる導入や発問になっていたか。

視点（２）児童の深まりにつながる再発問になっていたか。

視点（３）チームのめざす子どもの姿に向けた手立ては有効であったか。

5 研究の方法

（１）一人一授業の実施

所属チームメンバーは必ず、他はできる範囲で参観し、放課後ミニ研修を行う。専科教員・特別支援学級担任の授業は、学級担任や交流担任も参観する。学期に一回、一授業を兼ねたユニット型研修を実施し、学校運営協議会の方にも授業参観していただき、授業に対する感想をもらう。

（２）全校公開授業の実施

指導案検討は、授業者のクラスにおいて模擬授業形式で行い、協議で出た意見を指導案に反映させる形で実施する。指導案完成後に、チームで指導案を検討し、授業後に全体協議を実施する。

（３）フリートークの実施

「話す力」「聞く力」を高めるために、毎週水曜日の朝学の時間を使って、各クラスでフリートークを実施する。

6 研究のあゆみ

実施日	研修内容
4月16日(水) 校内研修会	◎授業づくりの方向性をそろえる(研修主題、研修内容、授業者)
4月18日(金) 校内研修会	◎全国学力学習状況調査・山口県学力定着状況確認問題採点と考察
5月14日(水) 校内研修会	◎研修の方法の共通理解と確認(めざす子どもの姿、研修の進め方)
6月11日(水) 校内研修会	◎授業の具体の研修を深める ・(低学年)チーム 模擬授業形式にて指導案検討
6月30日(月) ユニット型研修会	授業者(教諭 石津 友美恵)【第3学年・外国語科】
7月9日(水) 校内授業研究	授業者(教諭 荒川 正造)【第2学年・算数科】 指導者 県教育庁義務教育課指導班 指導主事 竹坂 豊 様
7月24日(水) 校内研修会	◎授業の具体の研修を深める ・各チームにて模擬授業形式による授業説明
8月27日(水) 校内研修会	◎「令和7年度授業力向上実践研究」第2回情報交換会議復伝 ◎各チームにて模擬授業と指導案検討 低学年チーム指導者 県教育庁義務教育課指導班 主 査 杉山 夕子 様 高学年チーム指導者 県教育庁義務教育課指導班 指導主事 森田 憲明 様
9月1日(月)	研修推進班協議 ◎受指導を生かして研修の取り組み整理、日程の確認
9月9日(火)	◎指導案受指導 中学年チーム指導者 県教育庁義務教育課指導班 指導主事 竹坂 豊 様
9月17日(水) 校内研修会	◎具体に向けた共通理解と各チームにて指導案検討
10月6日(月)	◎指導案受指導 低学年チーム指導者 県教育庁義務教育課指導班 指導主事 大賀 拓也 様
9月24日(水) 校内研修会	◎全体にて各チームの指導案検討
9月26日(金)	◎有志にて高学年チームの指導案検討
10月15日(水) 校内研修会	◎研修の概要の見直し ◎指導案の確認
10月17日(金) ユニット型研修会	授業者(教諭 時吉 知春)【第5学年・社会科】
11月19日(水) 授業力向上実践研究発表	授業者(教諭 川野 加奈子)【第1学年・国語科】 授業者(教諭 山崎 可織)【第4学年・算数科】 授業者(教諭 山田 祐輔)【第6学年・社会科】
1月21日(水) 校内授業研究	授業者(教諭 吉村 元良)【ひまわり第2学年、第4学年・国語科】
2月18日(水) 校内研修会	◎研究のまとめ(成果と課題の整理)